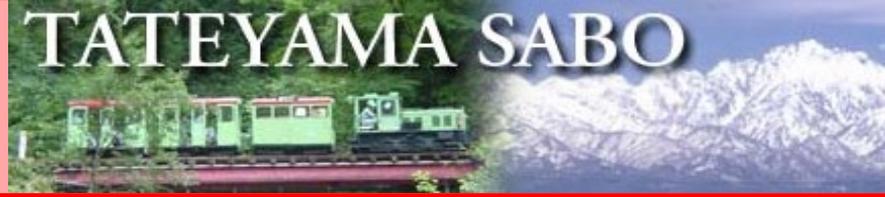


出水に備えて『洪水対応演習』を実施！！



立山砂防事務所では、出水による土砂災害の発生を想定した洪水対応演習を実施しました。この演習は、土砂災害発生時における関係機関への災害情報の報告や体制発令演習等を行い、発生箇所の把握と応急対策の検討等を行う訓練で、土砂災害が発生した場合に緊急かつ適切な対応を行う事を目的としています。

日時：令和4年4月26日（火）9：00～17：00

場所：立山砂防事務所（3階 災害対策室）

参加者：職員全員

実施内容

①関係機関への災害情報伝達 ②土砂災害発生対応演習

演習想定

- 1. 降雨状況**
 - 雨量は千寿ヶ原観測所（富山県中新川郡立山町千寿ヶ原）
 - ・7時00分 大雨洪水警報発令【富山市、立山町】
 - ・9時00分 土砂災害警戒情報発令【富山市、立山町】
累計雨量84mm、時間最大雨量28mm
 - ・11時00分 累計雨量161mm、降雨期間中の時間最大雨量45mm。以降は降雨なし。

2. 山腹崩壊の発生状況

- ・常願寺川本川の津之浦砂防堰堤左岸下流（真川大橋の1.5km上流）において山腹が崩壊。
- ・崩壊規模は長さ約180m、幅約150m、平均厚約10m。崩壊土砂量は約27万m³。
- ・川の流れは一部確保されており、河道閉塞は起こしていない。
- ・今後の状況によっては、河道閉塞を起こし土石流により下流に被害を与える恐れがある。

演習内容（机上）

- ①関係機関への情報提供・情報共有**
 - ・富山県、富山市、立山町等への情報提供。北陸地方整備局への情報伝達・情報共有
 - ・記者発表
- ②斜面、堆積土砂の監視**
 - ・ヘリコプターによる上空調査、災害協定会社による地上からのUAV調査
 - ・監視カメラ設置、ワイヤーセンサー設置
- ③応急対策**
 - ・粟巣野第1号砂防堰堤（立山大橋直下）のスリット部（2カ所）をコンクリートブロック8t3段積（198個）により閉塞させ、流出土砂に備える。



【演習後の反省会での意見（抜粋）】

- ・情報共有やCCTVで、関係機関とのやり取りなど不足している部分があった。
- ・応急対策工事の3交替シフト等を急遽考えるのではなく、日頃からシフト体制を整えておく必要がある。
- ・現地調査等で通行する周辺道路の通行規制（通行止及び解除の基準）の把握が必要。
- ・現地での災害規模の計測方法や、機器の使用方法について講習会等で周知が必要である。
- ・管内の巡視ルートについて、判りやすい地図や図面の作成が必要である。
- ・現場を把握するために、地名や堰堤名を現地視察や安全パトロール等で確認しておく。

今回の演習での課題や反省点を改善し、今後の災害対応に反映します。